

2025 県大会実施要項付則（大会運営確認事項）

大会事務局

1. 大会申込み及び代表者会議

- (1) 申込みは指定された日時までに「kick off」の大会申し込みページより行う。
また、大会参加料を指定された日時までに県少年サッカー連盟並びに県サッカー協会 4 種委員会口座へ振り込むこと。
※ 前記 2 件（申込み、振込み）が、要項で指定された日時までに完了したことをもって受付とする。
※ 受付を完了していないチームは、いかなる理由でも大会出場はできない。
- (2) 鹿児島県ちびっこサッカー選手権大会及び MBC 開発 Presents K F A 九州 U-12 サッカー大会（兼 K Y F A フジパン C U P 九州 U-12 サッカー大会鹿児島県予選）は、加盟全チームに出場する権利がある。その他の県大会は、地区予選を突破したチーム、または出場要件を満たしたチームに出場権がある。
- (3) 代表者会議には、必ずチームを常時掌握する指導者が出席すること。
出席しない場合（会議開会時刻に間に合っていない）は、棄権を含む処分の対象となる。
※ 代表者会議で共通理解並びに伝達した事項を「確実に」保護者及び選手へ伝えること。

2. 開会式及び閉会式

- ◎ 入場行進／開会式を行う大会（自然災害等の影響を考慮し行わない場合もある。）
 - ・ K F A 九州 U-11 サッカー大会鹿児島県予選
 - ・ K F A 地区対抗女子 U-12 ガールズフェスティバル大会
 - ◎ 開・閉会式のみ行う大会
 - ・ 砂の祭典杯 ・ 地区選抜大会
 - ◎ 開会式を代表者会議で兼ねる又は行わない大会
 - ・ K F A 鹿児島県ちびっこサッカー選手権大会 ・ J F A U-12 サッカー選手権大会鹿児島県予選
 - ・ MBC 開発 Presents K F A 九州 U-12 サッカー大会（兼 K Y F A フジパン C U P 九州 U-12 サッカー大会鹿児島県予選） ・ K F A MBC 開発 C U P U-12 サッカー大会 ・ K F A U-9 サッカー大会 ・ K F A U-10 サッカー大会
- (1) 各大会要項に従い、決められた時刻までに所定の場所へ集合すること。
 - (2) 開閉会式は原則としてユニフォームで参加すること。（ただし天候により変更もありえる。）
 - (3) 入場行進前の整列は、各チーム指導者が行うこと。整列後、指導者は速やかに所定の場所へ整列し、開会式に参列すること。その際、プラカードを持参すること。（女子大会は不要）
 - (4) 代表者会議及び入場行進の前に「リスペクト・フェアプレー宣言」を行う。
 - (5) 開会式の入場順は、以下の通りとする。
 - I 前回優勝チーム II 抽選番号順（U-11 の場合は、1 番→32 番）
 前回優勝チームは、優勝旗等を必ず持参すること。
 (ア) リスペクト旗、選手宣誓担当、リスペクト宣言担当は、代表者会議において決定する。
 (イ) 入場行進整列時刻（開会式開始時刻）に間に合わなかったチームは、棄権を含む処分の対象となる。
 - (6) 閉会式は、ベスト 4 チーム並びにフェアプレー賞受賞チームにて行う。
 ※ フェアプレーコンテストを、初日または 2 日目に、全チームを対象に実施する。決定後は該当チームへ直ちに連絡する。
 ※ フェアプレー賞受賞チームは、代表 2 名以上、表彰式に必ず参加すること。
 ※ 県ちびっこ選手権は、大会優秀選手も表彰する。
 ※ 開閉会式とも、話を聞く態度を指導しておくこと。（私語、体のふらつきが無いよう 等）

3. フェアプレー

- (1) 各大会において、(県少サ連盟規約第44条に則り) 規律・フェアプレー委員会を組織する。
- (2) 急を要する事案等については、各大会要項通りとする。
- (3) 本大会に参加するチームは、公益財団法人日本サッカー協会の発行した公認指導者ライセンス認定証を有する指導者が1名以上在籍すること。(大会参加申し込み時)
また、鹿児島県少年サッカー連盟配布のADカードを持参すること。(ADカードは、ベンチ及びピッチ内練習時には着用すること。)
- (4) 帯同審判は公益財団法人日本サッカー協会の発行した審判証を持参すること。
- (5) ベスト4チームはマッチコーディネーションミーティングに遅刻の無いよう連絡事項の確認をすること。

4. 応援及びマナー

◎ 指導者はもちろんのこと、全保護者へ周知徹底させること。

(1) 「リスペクトプロジェクト」の推進

「サッカーには敵はいない。対戦相手は敵じゃない。自分たちの力をためし、サッカーを楽しむための大切な仲間。試合のはじめに相手の目を見てしっかりと握手する。リスペクトの証しとして。」
審判「子どもたちも一人ひとり立派な選手。しっかり目を見て握手する。いいゲームしようね。」
⇒試合のあいさつは、選手も審判もハンドシェイクセレモニーにて行う。

※ 全員がチェックを受けユニフォーム姿でピッチに入場。セレモニー後、サブは、ビブスを着用しベンチに着席する。

指導者「子どもたちに会う前には、いつも自分を振り返る。子どもたちは大切な相手。ちゃんとしていないと恥ずかしい。スマイルOK!」

「レフェリーがいないと、ちゃんと試合ができない。大切な人。」

⇒ポジティブコーチングに努める。レフェリーの判定を受け止める。

※ 初タイプコーチング・オーバーコーチングを避け、的確なコーチングに努め、子どもたちの判断を奪わない。

サポーター・保護者の応援

「コーチはコーチに任せる。レフェリーはレフェリーに任せる。プレーは子どもたちに任せる。
私たちは応援し、見守る。」

⇒めざせベストサポーター!!

※ サポーターの禁止、自分のチームだけでなく相手チーム選手への励まし、賞賛もしましょう。

※ ウェルフェアオフィサー配置大会は、オフィサーの指示に従うこと。(指導者、保護者とも)

注) ウェルフェアオフィサー：こどもの安心・安全を保証する仕事をする人)

- ・ 暴力・暴言に対する指導及び規律委員会への報告。
- ・ 行き過ぎた指導に対する注意及び規律委員会への報告。
- ・ 観戦者(観客)の暴言や選手に対する指導についても指導及び規律委員会への報告をし、チームに対し処分を行うので、応援マナーや態度について代表指導者の責任において周知すること。

(2) 応援については、ベンチの反対側または指定された場所で応援すること。

- ・ ピッチ上の選手と同色のシャツを着ての団体での応援は、審判のジャッジの妨げになるため、別色の上着を羽織るなどして対応すること。
- ・ 鳴り物やメガホンを使っての応援は、会場責任者の指示に従う。スタンドが設置している場合は、スタンドでの応援に限り許可する。
- ・ ゴール裏の応援は、ペナルティエリア幅外で応援する。

(3) ごみの持ち帰りの徹底。特に、注文した弁当の空容器については、業者へ確実に引き渡すこと。

(4) タバコの吸殻等の後始末を必ず行うこと。喫煙は施設で定められた場所で行い、指定場所であっても選手に影響のある場所(アップ場所の近く、チームテントの近く等)での喫煙は遠慮すること。

※ 大会役員の指示に従うこと。学校・公共施設敷地内は禁煙です。

(5) ビデオ並びに写真撮影を行う際は、運営・競技の妨げにならないよう撮影場所を指定する場合があります。役員の指示に従ってください。

5. その他

- 雷雨等の自然現象により、試合時間を早めたり遅らせたりする場合がある。その場合、会場長及び県少年連盟役員、当該試合の主審による協議の上、チーム（指導者代表）及び関係者へ指示し対処する。（運営委員長不在の場合は、事後報告をする。）
- 雷雨等の自然現象や予期せぬ突発的な事故等についても、以下により決定する。
 - ・ 会場長及び県少年連盟役員、当該試合の主審による協議の上、チーム（指導者代表）及び関係者へ指示し対処する。（運営委員長不在の場合は、事後報告をする。）
- 暑熱時期の県大会においては、暑熱対策として WBGT 計測器を用い、飲水タイム・クーリングブレイクを設定する。よって、各チームは、クーリングブレイクに伴う日陰の確保手段として、テントの持参を義務とする。
- 会場設営並びにゴール撤去等お願いする場合があります。ご協力をお願いいたします。
- 駐車に関して
 - (1) 全ての県少年サッカー連盟主催・主管大会において、応援及び選手・荷物運搬に際し駐車する車両には、県サッカー協会 4 種委員会ホームページにアップしてある「駐車票」（チーム用の駐車票も可）をダッシュボードに提示しておくことを義務付ける。駐車票には、チーム名を必ず記載しておくこと。各会場駐車場入り口にて役員がチェックし、違反のあったチームは、処分の対象とする。
 - (2) 駐車場をイス等で確保しないこと。（明らかなマナー違反）トラブルの原因になります。県大会以外のプライベート大会でもマナーを守りましょう。
- 大会における試合等の撮影については、総会で配布した「（一社）鹿児島県サッカー協会 4 種関連大会及び鹿児島県少年サッカー連盟主催・主管大会における画像・映像等ならびに SNS 投稿に関するガイドライン」を順守すること。違反を認めた場合は、大会規律委員会を通じ、（一社）鹿児島県サッカー協会規律・フェアプレー委員会、同裁定委員会、（公財）日本サッカー協会に報告され、処分の対象となる。また、チーム関係者すべて（指導者・選手・家族・観客を含む）が対象となる。
- 試合中、チーム活動の一環（スカウティング、戦術分析、選手指導等）として撮影する場合は、大会本部にその旨を文書にて届け出ること。撮影は、1 台とし、場所は指定する。
様式例) ①チーム名 ②期日 ③撮影者名 ④対戦チームの許可承諾（引率指導者の直筆署名）

鹿児島県サッカー協会及び鹿児島県少年サッカー連盟主催大会における事故等について、主催者は、その責任を負いません。当該チーム並びに個人の責任において処理すること。

申込及びメンバー表について

1. 申込について

- 「kick off」の大会申し込みページから申し込むものとする。
※ 但し、合同チームの申込に際しては、別様式のシートでの申込とする。
- 「kick off」を操作する作業者のメールアドレス確認をする。（Kickoff 上の、登録データ上の“入力責任者”しか操作できません。注意を。）
- MBC 開発 Presents K F A 九州 U-12 サッカー大会（兼 K Y F A フジパン C U P 九州 U-12 サッカー大会鹿児島県予選）/ K F A MBC 開発 C U P U-12 サッカー大会の申込みにおいて、一度入力された大会はキャンセルができません。細心の注意を払って大会にエントリーすること。間違えてエントリーした大会でも出場することになります。
- 県大会用ユニフォームデータは、各地区年度初めの地区総会で決められた期日までに地区事務局長へ送付すること。地区事務局長は、県ちびっこ大会申し込み期限までに地区チームのユニフォームデータを県事務局へ送付すること。
- ユニフォームの変更の際は、地区審判部を通じ、地区事務局長へ送付すること。地区事務局長は速やかに、県事務局へ送付すること。

2. メンバー表について

- 「kick off」より、出力されたチーム情報によりメンバーチェックを行う。

- ・ 試合開始10分前に顔チェックを受ける。

※ キックオフ登録されていない選手・関係者はベンチに入ることはいけません。

3. ベスト4進出チーム

- 「kick off」より、出力されたチーム情報によりマッチコーディネーションミーティング（MCM）は行われる。準々決勝が終了次第、本部へユニフォームの正副（FP・GK）を持参し対戦相手とユニフォーム協議を行う。また、両チームが試合に使用するシャツの色と異なるビブスを用意すること。

この大会に参加申込みをすることで記載した個人情報は、大会運営に関してのみ使用します。

なお、記載事項には代表者が責任を持つこと。虚偽記載には厳しく対処いたします。

<追記>

1 競技上の注意について（審判部）

- (1) 当該年度において変更された競技規則は、次年度から適用する。
- (2) 主審およびその他すべての審判員の決定は、常にリスペクトされなければならない。
- (3) JFA ユニフォーム規程の補足について。
 - ・ 黒・紺系のシャツの使用は認めないものとする。※ Jリーグ下部組織を除く。
 - ・ 前面と背面の主たる色彩は同じでなければならない。背番号は明確に見えるようにすること。
 - ・ セパレート式のソックスを着用する場合で上下の色が異なる場合は踝（くるぶし）から上の部分をチームで統一すること。
- ※ 新規ユニフォーム作製の際は、必ず地区審判部長又は県審判部に問い合わせること。
規定に沿っているかの確認後、作製すること。この手続きがなされていない場合は着用できない。
- (4) 貼り選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズ（番号はユニフォーム規定どおりの大きさ）のものとする。
- (5) 手書きによる貼り番号も認める。貼り番号を作成する時は、生地の色は問わないが、該当する選手が複数名いる場合は、その生地の色は全て同じとする。生地色の4辺を縫ったもののみ使用を認める。
(縫い目に指が入らないように確実に縫い付けること)
- (6) 交代について
 - 入場が早かった際に審判員が確認した場合には警告を与えられる事もあり得る。防止策として、交代要員の着ているビブスを用いて、退く選手が交代ゾーンから確実に出たあとにフィールド外にてビブスを受け渡したのち交代要員がフィールドに入る。
 - プレー続行が困難と認められる事象（骨折や脳震盪など）に際しては、審判員により速やかに試合を中断し、選手を担架等でタッチライン外へ移動させる。その後の対応については、出場の可否を含め、チーム指導者が判断する。
- (7) 競技中に戦術的な理由からFPからGKへ代わる場合、またはGKからFPに代わる場合、大会に登録された同じ番号のユニフォーム(シャツ・パンツ・ソックス)をベンチに準備しておくこと。ベンチに無い場合、交代は認められない。
- (8) 延長戦について
 - 延長戦がある場合は、その前に両ベンチ前で3分程度の休憩（ベンチイン可）をとることができる。（ハーフタイムのインターバルでは、短時間の水分補給時間を取ることが認められる。）
- (9) 試合の勝者を決定する方法（PK方式）においてFPがGKに代わる場合のユニフォームについて
戦術、緊急避難的対応問わず、大会に登録されたFPと同じ番号の、試合で着用していないユニフォームのシャツを着用する。
 - ※ ベンチに準備していない時は、（交代は）認められない。
- (10) フェアプレーに対する審判のアクション

- ① グリーンカードを携帯し、フェアプレーやリスペクトのあるプレーに積極的に使用することを推奨する。(所持していない場合は本部から借用してください。)
- (11) グリーンカードを与える場面については、以下を参考にする。(JFA ホームページより抜粋)
- 怪我をした選手への思いやり
 - 意図していないファウルプレーの際の謝罪や握手
 - 自己申告 (ボールが境界線を出たとき: スローイン、CK、GK、ゴール)
 - 問題となる行動を起こしそうな味方選手を制止する行為
 - ピッチ上でのポジティブな態度
 - その他、リスペクト・フェアプレーに該当する態度や言動 (相手のボールを拾いに行く等)
- (12) テクニカルエリアからの指示について
- エリアからは、その都度ただ1人が戦術的指示を伝えることができる。且つ、エリア内に居る他の者が、同時に指示を伝えることはできない。
 - エリア内に居る者は、責任ある態度で行動し、第4の審判員、大会役員の指示に従わなければならない。
- (13) その他
- ① 審判員の靴について、審判員が通常着用するシャツの黒色と同様に黒を基本とした靴が望ましい。
 - ② 審判員のタイツについて、体調管理のうえで着用は審判員の判断に任せる。但し、純然たる黒色のみ (柄、ライン等ないもの) とする。
 - ③ 審判員の着用する眼鏡は、「スポーツメガネ、コンタクト」とする。
※日常生活上使っている眼鏡はNG。
 - ④ 審判員も装身具を身に付けることはできない (時計や試合時間を計測する同様の機器は除く)。

2 競技規則補足 (競技運営部)

- (1) ユニフォームの決定について
- ① チーム間で事前協議を行う。
 - ② 整わない場合は本部にて調整し、主審が最終決定する。
- (2) 急きょGKがインフルエンザ等で不在となる場合、各地区委員長を通して連絡することで、その日に限り、他のFPがGKの背番号へ変更することができる。
(メンバー表の背番号を二重線で見えるように修正すること)。
- (3) 本部からピッチに向かって左側が番号の若いチームベンチとする。
- (4) 控え選手は試合中の両チームのユニフォームと違う色のビブスを着用すること。
- (5) ピッチ内練習は、前試合のインターバルとする。1試合目のチームはインターバルの時間分を任意の時刻から試合前に行うことができる。
- (6) 帯同審判員は、会場到着後、直ちに審判証を提示し確認を受けること。
- (7) 帯同審判はキックオフに登録された者が行う。緊急時には各地区委員長を通じて連絡すること。
- (8) 試合当日の流れ
- ①審判証の提示→②対戦相手とユニフォーム協議→③顔チェック ※原則試合開始10分前